

エソタ



笑福亭 たま

と言つのだらう……。この頃、この手の発言をよく聞く。

十月から軽減税率が始まった。スーパーなどで食品を買う場合、イートインで食べると消費税は10%だが、持ち帰りだと8%になる。しかも「持ち帰り」で精算した後、イートインで食べても、国税庁は「制度上は問題ない」としている(税理士ドットコムによる)。なんじゃそれ!

これでは国民に「脱税しやすいシステムを作った」といいたから、悪いことやけど目をつむりますよ。皆で脱税してええですよ」と国が奨励しているようなものだ。しかし、こんなことを言つと国は「目をつむると言つてただけで、脱税を奨励しているわけではない。その指摘は当たらない」

■ その指摘は当たらない ■

関西電力の金品受け取り問題でも社長たちは「不適切だが、違法ではない」と言つ。政治家も、違法行為があつても「その指摘は当たらない」とだけひたすら言つて具体的根拠は示さない。理屈では明らかにおかしいのに、彼らの発言は堂々としている。彼らはどんだけ悪いことをしても、シラを切り通せばいいとも思つてゐるのだらうか。もちろんこう言つと「その指摘は当たらない」と言つのだらう……。小泉進次郎環境相が汚染水の質問をされた時に「ノドグロ」の話をしたが、その時に「ノドグロ」の話を聞いているんじゃない」とツッコまれても、「それも絡みまず

ツッコミより対処法を

ノドグロの干物を食べる筆者



からね」と堂々と返答。これもある意味一緒だ。

この原因は、実は日本国民のお笑い文化の向上だと思ふ。今や皆がお笑い芸人のように「小泉進次郎の発言でポエムか!」などと、どんなニユースもドヤ顔でツッコんで笑つ。その場の上手なツッコミを考えて、それで満足しだすと、将来や根本的な問題解決を深く真剣に考えなくな

る。芸人は深く考えずに、その場だけ笑えたらええという種類の人間だが、それが国民の大半を占めると社会は機能しなくなる。国民が企業のトップや政治家をおちよくるだけで罰さないと、彼らはドンドン悪さをしてシラを切り通すのだ。場当たりのなツッコミよりも、こういうシラを切る

人たへの対処法を真剣に考えていかなければ不正が横行する。しかし、「おまえらツッコんでるだけではアカンぞ!」と言つてる私も、この対処法はわからない。「ほなおまえもツッコんでるだけで一緒やないか」と言われるかもしれないが、その指摘は当たらない。

(落語家〓次回掲載は十一月十四日)